

2013年度石巻市鮎川での企画「牡鹿半島のくらし展in鮎川」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-05-19 キーワード (Ja): キーワード (En): Tohoku Gakuin University 作成者: 東北学院大学文化財レスキュー班 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/311



牡鹿半島の くらし展 in 鮎川

-再生・被災文化財-

トゲトゲ?

なんだこれ?

近くでサーカスもやっています!

開催日時

8月13・14・15日

10時~16時まで

会場

牡鹿のれん街前テント

主催

東北学院大学博物館

※ 最終日のみ13時までの
展示となります

※ 料金は無料です

■ごあんない

今年もお盆の時期にあわせて「牡鹿半島のくらし」と題して文化財レスキュー展を開催します。
今回見ていただくのは、50年ほどまえの牡鹿半島の漁業・農業・捕鯨・生活の道具です。
こうした道具が何に使う道具なのかや、それらから思い出される昔のくらしについて、ぜひお聞かせください。
被災した牡鹿公民館が所蔵していた民俗文化財がレスキューされて以来、東北学院大学ではクリーニングや害虫駆除などの作業を行ってきました。
展示会は、「おしかのれん街」の前、かつて公民館があった場所で、仮設テントを立てて実施します。
ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

東北学院大学文学部准教授 加藤幸治

■学生の声

私たちは今回の展示会に向けて、事前に道具や牡鹿半島について調べてきました。
しかし、調べてみても分からないことが多かったので、この展示会を通して皆さんから道具のこと、牡鹿半島のことについて沢山教えて頂きたいと思っています！
ぜひ周りの方もお誘いのうえ、足を運んでみてください♪
お待ちしております!!

皆様のお越しをお待ちしております！

